

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送りがな

/5

四 熟語の構成

/5

五 部首

/4

六 対義語

/5

七 書き取り

/14

合計

/49

合格のめやす

35問(7割)

一

線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① じしゃくのはりが北をさす。

② 夜は早くねる。

③ 作業の順序をまもる。

④ 太い木のみきにさわる。

⑤ 上級生が一年生の手を引いて歩いた。

⑥ 遠足の持ち物をたしかめた。

⑦ このすなはつぶが細かい。

⑧ おばあちゃんと買いものに行く。

⑨ 鉄道のしやしんをとるのがすきだ。

⑩ この大陸はとても広い。

⑪ 三年生の教室は二階にある。

⑫ 病院で、けんこうしんだんをうける。

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 沖

画

② 仕

画

③ 輪

画

④ 玉

画

三

——線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい

くるまがとまる。

止まる

① 鳥が空をとぶ。

とぶ

② つぎのかどを右にまがる。

まがる

③ しろいくもがうかんでいる。

うかんでいる

④ 先生がプリントをくばる。

くばる

⑤ こまがくるくるまわる。

まわる

四

次の熟語の組み立ては、「」の「ア～エ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「ゝを」「ゝに」にあたるもの(れい 読書)

① 永久

□

② 師弟

□

③ 衣服

□

④ 貸借

□

⑤ 着席

□

五

部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

れい

イ
(にんべん)

休

やす

む

广

(まだれ)

①

政

ふ

②

海

てい

イ

(ぎょうにんべん)

③

来

おう

④

活

いっ

六

反対の意味の「ことばを」、「から
えらんで漢字で書きましょう。」

れい

大きい ⇄ 小さい

「れいがい ゆたか さいしよ せいこう ふかい」

①

浅い

⇄

②

失敗

⇄

③

原則

⇄

④

貧しい

⇄

⑤

最後

⇄

七

——線のことばを、漢字で書きましょう。

① あしたははれになるそうだ。

② にわにきれいなはながさいた。

③ このとうぐはとてもべんりだ。

④ 公園のちゅうおうに大きな木がある。

⑤ みんなでちからをあわせる。

⑥ とおくにいわやまが見える。

⑦ いところはこうこうにかよっている。

⑧ いしやになることをころざす。

⑨ ゆうきを出して発表する。

⑩ こうえんで先生にあう。

⑪ タがたいえにかえる。

⑫ つぎのだしゃがバッテリーボックスに立つ。

⑬ ならけんには、古いお寺が多い。

⑭ まちがいをけしゴムでなおす。

